

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和5年3月30日
タイトル	本年度を振り返って
水土里レポーター名	水土里ネットほっかい 西村 勇二

当方からの水土里レポートの発信は水土里ネットほっかい区域内の地域とのつながりのある行事を主としてレポートの発信を行っています。本年度の発信ですが、昨年度より新型コロナウイルスの影響は少なくなったものの本年度も縮小しての活動となっております。

本年度レポートについては岩見沢市北村小学校の「田んぼの学校」、砂川市での施設見学会について本年度についての活動を発信させていただきます。

この岩見沢市北村小学校は、校舎に隣接した学習田を利用し、3年生から6年生までの総合的な学習の時間に稲作体験学習を年間で位置づけた『米Myスタディー』を行っていて、岩見沢市の基幹産業である農業に誇りを持ち、郷土を見直し愛する心が育つことをねらいとしています。本年度は新型コロナウイルスの情勢を加味し、5・6年生での田植え活動となりました。来年度からは、今までの稲作の学習に加え畑作として大豆を育てていく計画だそうです。



砂川市での施設見学会は砂川小学校の社会科の授業の中で地元の産業についての理解を目的にして行われています。教室でまず、当区の主要施設である北海幹線を映像とパネルを用いて児童に知ってもらい、その後ペンケ水路橋・北海頭首工にて北海幹線を実感してもらいました。見学前の教室での映像の中でも紹介されている箇所を見学するため児童の皆様には好評で数多くの質問があり興味を持ったようです。

最終見学場所は小学校の近くにある親水公園。ここは用水路をパイプライン化しその上の用地を公園化し憩いの場としているものです。児童も身近なところではあるのですが、以前は用水路によって二分化されていたこと、自分の足元の下に用水路が流れていることは知らず、ここでも用水路に興味をもっていたようです。長年行っているこの見学会に対し小学校より感謝状を頂き、あらためてこの活動を継続してよかったと思う1年でした。



今年度の当地域での活動をみると次第にコロナ禍前の姿に戻りつつあるように受け取られます。令和5年度は、地元住民の皆様へ農業農村の重要性や水土里ネットの役割について理解いただけるような活動が多く行えるような1年であることを祈念して、本年度総括のレポートとさせていただきます。